

化学関係科部会

期 日 平成26年12月12日(金)

場 所 山形県立酒田光陵高等学校

参加者	酒田光陵高校	副校長	伊藤 吉樹
	米沢工業高校	教諭	會田 浩昭
	山形工業高校	教諭	加藤 智一
	鶴岡工業高校	教諭	横沢 淳
	酒田光陵高校	教諭	伊藤 造
		教諭	高橋 裕
		講師	堀 彰太
		講師	渡部 清一

1, 部会内容

1) 工場見学

東西オイルターミナル(株)酒田油槽所を見学した。港町である酒田市ならではの企業であり、大小はあるが東京湾のオイルターミナルと施設目的は同じであり、大変興味深い企業見学であった。

2) 各校の現状と課題

化学関係学科の充実を図るため、何をどう構築していけばよいか、各校の現状を出しながら協議を行った。現在は単独で化学のクラスを持つ学校はほとんどない。そんな現状の中「カリキュラム」「実習内容」「校外に対してのアピール」の充実が課題である。

3) ものづくりコンテスト「化学分析部門」

ものづくりコンテストの審査・採点基準の適正なあり方が問題となった。東北大会や全国大会の基準を検討した上で、上位大会で勝ち抜けるための本県の基準のあり方を考え実施していく。

4) 技能検定「化学分析」

今年度から始まった「化学分析三級技能検定」について、さまざまな情報を確認した。山形工業高校の阿部英敏先生が、実際に指導・受験した結果をレポートにまとめてくれ、それをもとに来年度の試験に向けての指導のあり方を確認した。

2, 雑感

今回の化学部会では、久しく行ってなかった懇親会を行った。日本工業化学教育研究会の打ち上げ以来のことだったので、参加された先生方全員楽しく有意義な時間を過ごすことができた。年に1回は、県内の先生方と本当の気持ちを話す機会は必要だと実感した。